

TAC会計士講座 管理会計論

テキストチェックゼミ

第2回 費目別計算～製造間接費

2025年12月27日 13:30～



ガイダンス ~はじめに ※注意点※~

本ゼミは、「論文生(リストアト生)」を対象にしております。

そのため、短答生、論文生(初年度生)にとっては、重荷になる内容になっています。必ず、TACのカリキュラムをしっかりと消化するようにしてください。

また、論文生(リストアト生)であっても、他科目の成績が良くない方は必ず苦手なものを優先して勉強するようにしましょう。

総じて、毎年の参加者からの感想は、

「とっても大変で、しんどかったけど、受けて本当によかった！」

でした。

準備など、大変だと思うので、他にめちゃくちゃ優先するものがある方は、そちらをやってください。必要があれば、相談してください。

ガイダンス ~管理会計論の勉強の仕方について~

Q. なぜ、勉強をしているのか？

→本試験で点数を取れるようにするため。

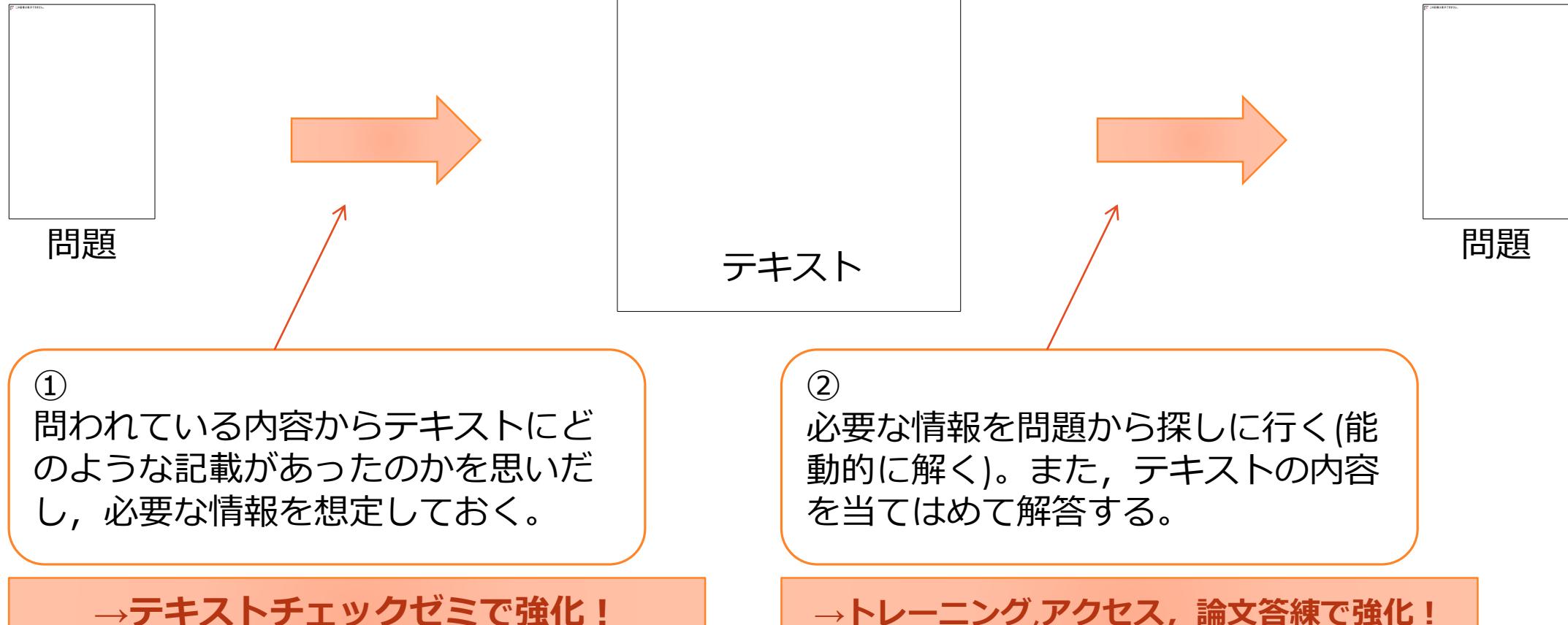
Q. 本試験で点数を取れるようにするためににはどうするのか？

→本試験で行うことの練習を勉強する段階からいかに作りこめるのか。が重要。

では、本試験で行うこととは何でしょうか？

ガイダンス～管理会計論の勉強の仕方について～

管理会計の問題を解く際の思考プロセスを言語化すると、下記のようになります。



※必ず、両面からの対策を行いましょう！テキチエが完璧になればOKではありません！！

ガイダンス ~管理会計論の勉強の仕方について~

他の科目もそうですが、特に、管理会計論はいかに自分の知識を“使うのか”が大事です。ここで意識してほしい考え方は「具体と抽象」です。

皆さんが普段解いている問題は「具体」です。

例えば、「 $19+28=47$ 」これは具体ですね。

「 $19+28$ 」は

皆さんはな

→教科書の

「1の位から

これがまさ

この、抽象

ただし。問

不可能ですよ。ナレッジマネジメントの仕事にはあります。

19+28を何度も繰り返す勉強ばかりしていませんか？
それだと、新しい問題が解けるようになることは正直不可能です。

どうしなきゃいけないか。
テキストをしっかり理解して使えるようにするしかないですよね。

管理会計論は、利用者にとって有用であれば、いいんです。
無数に問題を作成することができます。

自分の持っている知識をいかに当てはめることができるのか。
ここを意識しましょう。

生まれます。

ガイダンス ~管理会計論の勉強の仕方について~

あえて今回のゼミは参加者の皆さんにあてるることにしています。

これは、本試験の緊張の中、焦りの中でも冷静に自分の持っている知識を吐き出せるかどうかを訓練するためです。

今回のゼミは予習必須です。が。テキストの範囲を逸脱することは一切ありません。

ただし、テキストを暗唱ってきて何にも理解していないのは本当にお勧めしません。

論文理論問題集もそうですが、暗唱は大反対です。必ず、しっかりと内容を理解したうえでこのゼミに臨んでください。

予習不十分の状態で参加してもらうと、全く進まなり他の人に迷惑になります。僕のことが嫌いになるかもしれません、それくらいしっかりとした覚悟をもってこのゼミに参加してもらいたいと思っています。

最後までついてきてくだされば、管理が超得意になっているはずです。頑張りましょう。

ゼミ運営のルール

- ① 当てられたら必ずミュート解除してください！！
- ② 質問は最後にまとめて受けます！！
- ③ 試行錯誤やっておりますので、不手際等は申し訳ありません。
- ④ なるべく当たられる側になりましょう！視聴者だと効果は大半減します。
- ⑤ 参加者が多いため全員当たれない可能性もあります。偏るかもしれません。嫌っているわけではなくて、単純に私のミスです。。申し訳ないですが、アピールください。。
- ⑥ 今年でもう最後にしましょう！！みんなで合格！！！
- ⑦ 参加者への悪口などは絶対に禁止をお願いします！！
- ⑧ ゼミ運営の場においては、皆様に気持ちよくなつてもらいたいとは思っていません。最終的に合格されることがサービスだと思っています。時に厳しいこと、不快に思われることなどあるかもしれませんのが、恶意はなく、皆様に奮起していただきたい気持ちですので、ご理解ください。

ゼミ運営のルール part2

- ⑨ 視聴者参加で私の質問をひたすらメモるのはなしでお願いします。正直意味ないです。
- ⑩ **質問中はテキストを見てはいけません。全部終わってからテキストを開いてください。**
- ⑪ テキストを見て答えていることが発覚したら，，，，，とんでもないことになります。
- ⑫ わからないことはなるべくこの時間までに解消してきてください。
- ⑬ Twitter のDMで質問していただいてもいいですが，最近めちゃめちゃ返事遅いです。。。推奨しません。。。
- ⑭ わからなかったことを後で確認できるように何かメモする紙があったほうがいいです。
- ⑮ ぜひ，勉強仲間がいる人は友達同士でもやってみましょう！
- ⑯ いつか交流会したいですね～。

ゼミ受講の仕方

1. **予習必須**です。中途半端な予習は他の参加者の迷惑になりますので、頑張ってやってきてください。

2. テキストの読み方

- 自分の頭の中の知識を整理整頓しましょう。そのためには、論点のつながりを意識したテキストの読み込みをしましょう。→テキストの見出しを読む、目次でテキストを思い出す等。
- テキストを読むにあたって、疑問を持って読むようにしましょう。そして、その疑問を自分で解決するようにしましょう。これは、論文試験での考え方につながります。→棚卸減耗費は、なぜ間接材料費ではなくて、間接経費なのか？
- 5分でも2分でも1分でも、よいのでテキストを思い出しましょう。思い出すことがとっても大事です。アウトプットしようと思わないと、インプットできません。

3. ゼミ中

- 要らない紙などを手元において、後で確認したいことや、質問事項などあればメモしておいてください。
- 他人が当てられているときに、自分が当てられたと思って考えておきましょう。
- 質問を繰り返し読み上げるのは大変なので、集中力もってお願いたします<m(__)m>

ゼミ受講の仕方 ~2. の補足

論文式試験における問題の考え方は下記の通りになります。

Q. 棚卸減耗費≠間接材料費となり，棚卸減耗費 = 間接経費になるのはなぜか

ここで，間接材料費と間接経費で，間接費になることは問題ない。

棚卸減耗費が材料費ではなくて経費となることについて証明する。

それぞれの定義を確認すると，

材料費 = 物品の消費によって生じる原価

経費 = 材料費，労務費以外の原価要素

棚卸減耗費 = 紛失，盗難，破損，蒸発などによる減少分

上記より，棚卸減耗費は，材料費の定義を満たさない。また，労務費ではないことは自明であることから，

∴ 棚卸減耗費は間接材料費ではなく，間接経費となる。

(Q.E.D)

ガイダンス ~スケジュール~

※変更になる可能性があります。

回数	実施日	時間(目安)	実施テーマ
1	2025年12月20日(土)	13:30~15:30	ガイダンス&材料費 ※オープン参加可
2	2025年12月27日(土)	13:30~15:30	第2章：費目別計算, 第3章：製造間接費の配賦 ※オープン参加可
3	2026年1月9日(金)	19:30~21:30	第4章：部門別計算, 第5章：個別原価計算
4	2026年1月17日(土)	13:30~15:30	第6章：総合原価計算
5	2026年1月31日(土)	13:30~15:30	第7章：標準原価計算
6	2026年2月7日(土)	13:30~15:30	原価計算総復習, 第8章：直接原価計算, 第1賞：原価計算総論
7	2026年2月21日(土)	13:30~15:30	第1章：管理会計総論, 第2章：財務情報分析, 第3章：CVP分析
8	2026年3月7日(土)	13:30~15:30	第4章：予算管理, 第5章：資金管理, 第8章：業務的意思決定
9	2026年3月21日(土)	13:30~15:30	第6章：原価管理, 第7章：ABC／ABM, 第9章：設備投資意思決定
10	2026年4月4日(土)	13:30~15:30	第10章：分権組織とグループ経営, 第Ⅲ部：補足論点（希望者のみ）

材料費について

26年目標テキスト P 18～P 31

原価計算基準 11

材料費について

Q.

材料費の分類について説明してください。

材料費について

Q.

継続記録法と棚卸計算法はそれぞれ何を計算する計算方法ですか。

材料費について

Q.

継続記録法と棚卸計算法の利点を教えてください。

材料費について

Q.

棚卸減耗費は原価計算上どのように処理しますか？

材料費について

Q.

棚卸減耗費のような、材料に関連して発生する費目で、間接経費になるものは他に何がありますか。

材料費について

Q.

実際購入原価の計算はどのように行いますか？

材料費について

Q.

外部副費は原価計算基準では何と呼ばれますか？

また、外部副費の具体例を教えてください。

材料費について

Q.

内部副費はなぜ購入原価に算入しなくてもよいのでしょうか。

材料費について

Q.

副費を購入原価に算入しない場合、どのように処理をしますか？

材料費について

Q.

値引・割戻の場合があった場合の処理を教えてください。
また、値引・割戻の処理を行った場合、どのような計算要素に影響がありますか。

材料費について

Q.

予定消費価格、予定受入価格の違いは何ですか？

材料費について

Q.

予定消費価格の利点は何ですか？

材料費について

Q.

予定受入価格の利点は何ですか？

材料費について

「令和5年第I回短答式試験 問題2より」下記の選択肢の問題を解答するにあたり、〔資料〕に記載のありそうな情報は何ですか？

問題 2 当工場では、材料Xを主要材料として製品Yを製造している。当工場における次の〔資料〕に基づき、当月の材料Xに関する材料費計算の結果として最も適切なものの番号を一つ選びなさい。なお、計算過程で端数が生じる場合、計算途中では四捨五入せず、最終数值の円未満を四捨五入すること。（7点）

1. 材料副費実際発生額のうち、外部副費は1,387,540円であり、内部副費は1,313,820円である。
2. 材料Xの単位当たり購入原価は8,970円/kgである。
3. 製造間接費は合計で6,067,580円である。
4. 材料副費配賦差異は33,515円の不利差異である。
5. 検収費が35,200円上昇した場合の材料Xの単位当たり購入原価は9,020円/kgである。

材料費について

「令和5年第Ⅰ回短答式試験 問題2より」

次の問題文から想起されるテキストに記載の内容はどういったものがありますか。

回答例) 内部副費は購入代価又は購入数量を基準として予定配賦することになっていたが、今回は購入代価を用いている。

当工場では、材料Xを主要材料として製品Yを製造している。当工場における次の〔資料〕に基づき、当月の材料Xに関する材料費計算の結果として最も適切なものの番号を一つ選びなさい。なお、計算過程で端数が生じる場合、計算途中では四捨五入せず、最終数值の円未満を四捨五入すること。(7点)

〔資料〕

1. 当月の材料X購入量 4,950 kg(購入単価 8,750 円)
2. 当工場では材料Xの購入代価の 3.8 %を内部副費予定額として計上している。
3. 当工場では内部副費は間接経費として処理している。
4. 当月の材料副費実際発生額(工場經理は「原価計算基準」に例示されている費目および分類にしたがっている。)

引取運賃	341,600 円	購入事務費	359,200 円
手入費	95,200 円	保管費	330,120 円
荷役費	222,100 円	買入手数料	190,490 円
選別費	298,540 円	整理費	317,000 円
検収費	212,300 円	保険料	123,700 円
関税	211,110 円		

5. その他の製造間接費の総額(当月)は、4,455,220 円である。
6. 材料副費は全て材料Xに関連して発生している。
7. 主要材料は材料Xのみであり、主要材料以外の材料は、購入時に全て間接材料費として処理している。

1. 材料副費実際発生額のうち、外部副費は 1,387,540 円であり、内部副費は 1,313,820 円である。
2. 材料Xの単位当たり購入原価は 8,970 円/kg である。
3. 製造間接費は合計で 6,067,580 円である。
4. 材料副費配賦差異は 33,515 円の不利差異である。
5. 検収費が 35,200 円上昇した場合の材料Xの単位当たり購入原価は 9,020 円/kg である。

材料費について

「平成31年第Ⅰ回短答式試験 問題2より」

次の問題文から想起されるテキストに記載の内容はどういったものがありますか。

(載せていない部分は回答のみです。資料は全て掲載しています。)

回答例) 内部副費は購入代価又は購入数量を基準として予定配賦をすることになっていたが、今回は購入代価を用いている。

H工業は、当年度の5月15日に材料Aと材料Bを購入した。次の〔資料〕に基づき、「原価計算基準」上で認められている手続にしたがって計算した場合の材料Aおよび材料Bの購入単価について、正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。(7点)

〔資料〕

1. 送り状

送り状(No.100654)		5月15日
材料品目	数量	購入代価
材料A	200個	2,400,000円
材料B	300個	3,150,000円

2. 代金支払条件として、同一月内に材料購入額が一定額に到達した場合には、支払時に購入代価の2%分の割戻を受けることになっている。
3. 引取費用は、送り状No.100654に対して、引取運賃が180,000円、買入手数料が55,500円であった。なお、引取運賃の発生は材料の購入数量に、買入手数料の発生は購入代価に関係しているものとする。
4. その他の副費の月間予算額については、購入事務費が150,000円、検収費が80,000円であった。なお、購入事務費と検収費の予算額は購入代価に関係しているものとする。
5. 材料購入代価の月間予算額は、7,500,000円である。
6. 当年度5月は材料購入額が一定額に到達したため、割戻を受けた。

材料費について

「平成27年第Ⅰ回短答式試験 問題4より」

次の問題文から想起されるテキストに記載の内容はどういったものがありますか。

(載せていない部分は回答のみです。資料は全て掲載しています。)

回答例) 内部副費は購入代価又は購入数量を基準として予定配賦をすることになっていたが、今回は購入代価を用いている。

当工場では、個別原価計算を実施している。次の〔資料〕に基づき、当月の①製造指図書# 10, # 11 および # 12 の直接材料費の合計額、②材料に関する製造間接費、③材料に関する価格差異の計算結果として正しいものの組合せを示す番号を一つ選びなさい。なお、計算過程で端数が生じる場合は、円未満を四捨五入する。(8点)

〔資料〕

1. A材料、B材料に関するデータ

	A材料	B材料
使用用途	直接材料	直接材料と間接材料
月初有高	@301円 50kg	@50円 200個
当月購入単価	@300円	@50円
当月購入数量	800kg	1,800個
当月購入分の引取運賃	16,000円	3,500円
当月購入分の内部副費	購入代価の5%	購入代価の5%
消費価格の計算法	先入先出法	予定価格(@55円)
当月消費量	# 10 150kg # 11 350kg # 12 250kg	# 10 300個 # 11 800個 # 12 600個 指図書番号の指定なし 120個
当月実施棚卸数量	98kg	177個
棚卸減耗の発生	正常の範囲	正常の範囲

(注) ① 内部副費は購入原価に含まれる。

② B材料の実際価格は総平均法によっている。

2. C材料に関するデータ

(1) 使用用途：間接材料

(2) 月初有高 4,300円 当月購入高 28,000円 月末有高 3,700円

材料費について

Q.

材料費の計算方法について、体系的に説明してください。

労務費について

26年目標テキスト P 32～P 38

原価計算基準8,10,12

労務費について

Q.

労務費とは何ですか？

労務費について

Q.

直接労務費と間接労務費の違いは何ですか？

労務費について

Q.

直接労務費、間接労務費それぞれの計算方法を説明してください。

労務費について

Q.

直接工賃金，間接工賃金の内訳にはどのようなものがありますか。

労務費について

Q.

直接工賃金を要支払額で計算した場合、直接工賃金はどのように扱いますか？（何費となりますか？）

また、この処理は、「原価計算基準」にも記載がある内容となります。なぜ、直接工賃金を要支払額で計算できると記載があると思いますか？

労務費について

Q.

工員とは、何ですか？また、直接工と間接工の相違点を説明してください。

労務費について

Q.

労務費は労務主費と労務副費に分けることができますが、
どのような分け方ですか。

労務費について

Q.

加給金と諸手当の違いは何ですか。

労務費について

Q.

割増賃金とは何ですか？

労務費について

Q.

原価計算期間と給与計算期間が異なっていた場合に、原価計算のために、期間調整の計算をする必要があるものは何ですか？

また、期間の調整をする必要のないものは何ですか？

労務費について

Q.

法定福利費と福利施設負担額を費目別分類で分けるとそれ
ぞれ何になりますか？

また、それぞれどのような費目か説明してください。

労務費について

Q.

法定福利費が労務費に分類される理由を説明してください。

労務費について

Q.

直接工賃金の計算から、間接労務費は生じますか。
生じるとすれば、それは何ですか。

労務費について

Q.

消費賃率×作業時間で計算される労務費を3つ挙げてください。

労務費について

Q.

要支払額と支払額の違いは何ですか。

労務費について

Q.

賃金勘定に記載される、前期未払と当期末払に加給金は含まれますか。

労務費について

Q.

消費賃率と作業時間が問題となるのは、直接工ですか、間接工ですか、それとも両方ともですか。

労務費について

Q.

消費賃率の計算式を詳しく説明してください。

労務費について

Q.

諸手当は賃率計算に含みますか？その理由も教えてください。

労務費について

Q.

直接作業時間の内訳を教えてください。

労務費について

Q.

就業時間と勤務時間は何が違いますか？もしくは同じですか？

労務費について

Q.

間接作業時間と手待時間を区別して把握する理由は何ですか。

労務費について

Q.

就業時間のうち、原価管理において削減すべき時間は何だと思いますか？

労務費について

Q.

消費賃率の種類のうち「原価計算基準」の原則とされてい
るのは何ですか。

労務費について

Q.

賃率差異はどの勘定で発生しますか？。

労務費について

Q.

諸手当は予定賃率で計算されますか？

労務費について

Q.

賃率差異は間接工に関する費目からも発生しますか？
それはなぜですか。

労務費について

Q.

予定賃率の利点について、まず端的に2つ答えてください。
その後、理由を答えてください。

労務費について

Q. 「トレ第Ⅰ部2-3-2（平成26年短答式試験第Ⅱ回 問題2より）」

トレーニングで右記の問題を解いた後輩が下記のように話してきました。先輩として適切な言葉をかけてあげてください。

また、右記の問題を見て想起されるテキスト記載の論点をたくさん教えてください。（もちろん、とっても些細なことで大丈夫です。）

「残業時間に対応する金額が@350円って安すぎませんか？これって問題だからこうなっている感じですか？最低賃金下回りすぎwwwwww草」

次の〔資料〕に基づき、当月の間接労務費および賃率差異に関する計算結果として正しい金額の組合せを示す番号を一つ選びなさい。なお、計算に当たっては、わが国の「原価計算基準」に従うものとする。

〔資料〕

1. 直接工のデータ

当月加工時間	6,800時間
当月間接作業時間	380時間
当月段取時間	540時間
当月手待時間	180時間
年間予定賃率	@1,400円
当月賃金支払額(注)	10,970,000円

(注) 直接工への実際賃金の支払は、前月21日から当月20日までを給与計算期間としている。なお、前月21日から前月末日までの分は3,400,000円であった。

当月21日から当月末日までの賃金未払額	9,372,000円
---------------------	------------

2. 間接工のデータ

当月基本給	7,616,000円
当月残業時間	840時間
残業手当の実際割増賃率	@350円

3. その他の当月のデータ

給料	1,360,000円
従業員賞与引当金繰入額	1,080,000円
退職給付費用	950,000円
法定福利費	270,000円
福利施設負担額	130,000円

	間接労務費	賃率差異
--	-------	------

労務費について

Q. 「令和3年短答式試験 問題2より」

下記の問題文と選択肢を見て、どのような資料が載っていると想定されますか？また、テキストのどのような知識が必要になりそうですか？思いつくものを上げてみてください。

当工場では、毎月 21 日から翌月 20 日までを工場従業員の給与計算期間とし、毎月 25 日に給与の支払いを行っている。次の〔資料〕に基づき、ア～エの記述のうち、正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。（7 点）

- ア. 当月の間接労務費は、12,354,000 円である。
- イ. 当月の間接工の実際労務費要支払額は、7,884,000 円である。
- ウ. 当月の賃率差異は、118,000 円の有利差異である。
- エ. 当月の直接工に関する予定賃率による労務費は、11,060,000 円である。

労務費について

参考：「令和3年短答式試験 問題2」

あれ、平成26年の問題と同じ・・・。

当工場では、毎月 21 日から翌月 20 日までを工場従業員の給与計算期間とし、毎月 25 日に給与の支払いを行っている。次の〔資料〕に基づき、ア～エの記述のうち、正しいものの組合せとして最も適切な番号を一つ選びなさい。（7点）

〔資料〕

(1) 当月の直接工のデータ

基本給支払額	10,942,000 円
加工時間	6,800 時間
間接作業時間	380 時間
段取時間	540 時間
手待時間	180 時間
定時休憩時間	200 時間
予定賃率	1,400 円／時間

直接工に対する前月賃金未払額 3,400,000 円、当月賃金未払額 3,372,000 円

(2) 当月の間接工のデータ

基本給支払額	7,590,000 円
残業時間	840 時間
残業手当の実際割増賃率	350 円／時間
間接工に対する前月賃金未払額	254,000 円、当月賃金未払額 280,000 円

(3) 工場従業員に関するその他の当月のデータ

工場事務員給料	1,360,000 円
従業員賞与手当	1,080,000 円
退職給付費用	950,000 円
法定福利費	270,000 円
厚生費	555,900 円
福利施設負担額	300,000 円

ア. 当月の間接労務費は、12,354,000 円である。

イ. 当月の間接工の実際労務費要支払額は、7,884,000 円である。

ウ. 当月の賃率差異は、118,000 円の有利差異である。

エ. 当月の直接工に関する予定賃率による労務費は、11,060,000 円である。

経費について

26年目標テキスト P 35～P 41

原価計算基準10,13

経費について

Q.

経費とは何ですか？

経費について

Q.

直接経費を2つ答えてください。

経費について

Q.

複合費を設ける意義はどのような場合ですか。

費目別計算について

26年目標テキスト P 17～P 41

原価計算基準8,10,11,12,13

費目別計算について

Q.

「原価計算基準」14では、

「費目別計算において一定期間における原価要素の発生を測定するに当たり、予定価格等を適用する場合には、これをその適用される期間における実際価格にできる限り近似させ、価格差異をなるべく僅少にするように定める。」

と定められています。なぜですか？

製造間接費の配賦計算について

26年目標テキスト P 43～P 59

製造間接費の配賦計算について

Q.

製造間接費の配賦計算の原則的な処理はどのような処理ですか？また、容認処理は何でしょうか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

製造間接費の配賦について、原価計算基準上、総括配賦ではなく、部門別配賦が原則とされているのはなぜですか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

製造間接費の配賦基準の要件を 2 つ挙げてください。

製造間接費の配賦計算について

Q.

製造間接費の配賦基準として、時間的要素を含む配賦基準の利用が望ましいといわれるのはなぜですか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

予定配賦率の算定式を説明してください。

製造間接費の配賦計算について

Q.

原価計算基準で定められている、予定配賦率算定の基礎となる期間は1か月ですか、1年ですか、3年ほどの中長期的な期間ですか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

予定配賦率はいつ計算されますか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

実際配賦の欠点を端的に2つ答えたうえで、その後理由を述べてください。

製造間接費の配賦計算について

Q.

予定配賦の利点を端的に2つ答えたうえで、その後理由を述べてください。

製造間接費の配賦計算について

Q.

実際原価計算において、製造間接費配賦差異は何と何に分解しますか。また、その際には何を媒介として分けますか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

原価管理の観点からは、予算差異と操業度差異どちらを厳格に把握すべきですか。また、その理由は何ですか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

基準操業度の種類を 4 つ挙げてください。

製造間接費の配賦計算について

Q.

4つの基準操業度を2つのグループに分けるとしたらどのような分け方になりますか？

製造間接費の配賦計算について

Q.

原価計算基準において原則とされている操業度は
ですか。

製造間接費の配賦計算について

Q

基準操業度として、理論的生産能力が選択されることが少ない理由を説明してください。

また、実際的生産能力が選択される場合はどういった状況の時ですか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

実際的生産能力、平均操業度、期待実際操業度の各々について、操業度差異の内容と理論的処理を理由を含めて説明してください。

製造間接費の配賦計算について

Q.

製造間接費予算を固定予算とするか、変動予算にするかによって操業度差異の金額は異なりますか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

製造間接費予算を固定予算から公式法変動予算に代えると何が変化しますか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

固定予算の欠点は何ですか？

製造間接費の配賦計算について

Q.

固定予算を用いても問題がない場合はどのような場合ですか？

製造間接費の配賦計算について

Q.

変動予算の利点は何ですか。

製造間接費の配賦計算について

Q.

製造間接費予算が変動費と固定費に別れていない場合、差異分析の計算を行う上で気が付かなければいけないことは何でしょうか？

製造間接費の配賦計算について

Q.

公式法変動予算において、予算差異は変動費と固定費のどちらから出ますか？

製造間接費の配賦計算について

Q.

製造間接費の差異分析を原価管理に役立たせるためには、どのような点に注意すべきでしょうか。

製造間接費の配賦計算について

Q. 2019年論文式試験第1問－問題1より

問 2 我が国の「原価計算基準」33(2)では「(製造)間接費は、原則として予定配賦率をもって各製造指図書に配賦する」と規定されている。当工場でも、製造間接費を部門別予定配賦率によって各製造指図書に配賦している。製造間接費を予定配賦することによって、どのようなメリットが得られるか。期待されるメリットを2点答えなさい。

Q. 2019年論文式試験第1問－問題1より

問 3 総就業時間と直接作業時間との時間差は、どのような時間消費によって生じているか。考えられる原因を二つ解答しなさい。

製造間接費の配賦計算について

Q. 2019年論文式試験第1問－問題1より

問5について、どのような問題だと思いますか。＊＊の部分を推測して答えてみてください。

問4 各製造部門の製造間接費配賦差異を計算し、固定予算を用いて、予算差異と操業度差異に分析しなさい。

問5 上記の差異分析の結果、P工場の原価管理担当者から以下のような説明がなされた。下線部について、この説明の問題点を指摘しなさい。

「製造間接費差異分析の結果、当工場では、第1製造部門においても、第2製造部門においても、管理の重点ポイントである予算差異が大幅な＊＊差異を示しています。このことから、当工場では、原価管理能率は当初想定した水準より良好であると言えます。しかしながら、懸念すべき点もあります。操業度差異が＊＊差異となっていることには注意が必要です。操業度差異が大幅な＊＊差異となっていることから、工場の従業員による操業度管理をいっそう徹底し、操業度差異を縮小する必要があるでしょう。」